アルコール問題研修会を開催しました

「治療機関の立場から」鈴木 瞬 氏

「アルコール依存症」はアルコールという薬物による脳神経の慢性疾患で進行性の病気です。
「意志の弱さや性格の問題」という誤った理解や偏見から，必要な対応や治療が遅れ，本人・家族が大変苦しい思いをされている現状があります。
　アルコール依存症治療の三本柱（通院・抗酒薬・自助グループ）や依存症について学び，家族や身近な人が本人にどのように関わり，治療に繋げるかを学ぶ研修会を行いました。

日時及び時間：平成２８年１１月２５日 （金） 午前 9時30分～12時00分

場所：霞ヶ浦医療センター講堂

内容：講演・講話・意見交換
「治療機関の立場から」
　豊後荘病院 アルコール専門外来 精神科医 鈴木 瞬 氏
「当事者の立場から」
　ＡＡ （ｱﾙｺﾎｰﾘｸｽ･ｱﾉﾆﾏｽ） ・アルコール依存症回復者・断酒つくばね会
「家族の立場から」
　つくばね会土浦霞ヶ浦家族会・アルコール依存症家族
「相談支援の立場から」
　茨城県精神保健福祉センター 冨山孝 氏

対象：医療機関・支援機関の関係者，家族・当事者，一般市民等

主催：茨城県土浦保健所・茨城県精神保健福祉センター

※ ＡＡ 〈エイ・エイ＝Alcoholics Anonymous＝無名のアルコール依存症者たち〉
自身の体験談を語り,仲間の話を聴く～言い放し,聴き放し～によりアルコール依存症からの回復を目指す自助グループ。全国に600以上のグループが様々な場所でミーティングを開催。

※ 断酒会
AAの活動を参考にしながらできた日本独自のアルコール依存症の自助グループ。全国各地で例会がおこなわれおり，家族会もある。